

# いのちの教育

こころと体を健やかにはぐくむために必要です。

「いのちの教育」と聞いて、特別に構える必要はありません。  
「いのちの教育」は、子どもたちが人や自然、社会とかかわる体験をとおして「生まれてよかった!」と実感するものです。

## 私の中のいのちを見つめよう 三つとないいのち

お子さんに、自分のよさを気づかせてあげましょう。  
お子さんと夢や目標を話し合ってみましょう。

いのちを見つめる  
窓口の例

## 私とつながっているいのちを見つめよう つながり合ういのち

いのちは、何百年、何千年前からつながっているのです。  
多くの恵みに支えられていることに感謝しましょう。

## いのちそのものを見つめよう 限りあるいのち

ペットを飼ったり花を育てたりして、いのちをはぐくんでみましょう。  
いのちには終わりがあることを見つめましょう。

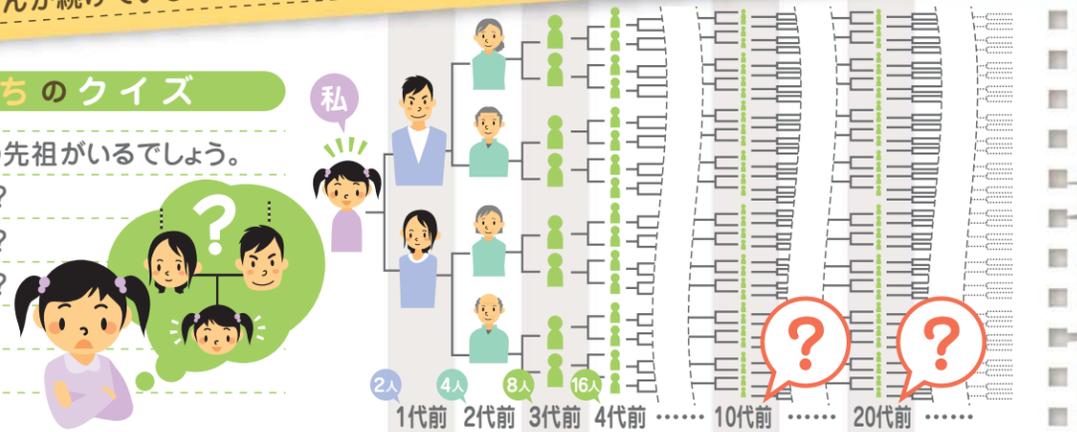
## 「いのち」を輝かせるヒント

- 最初から子育ての得意な人は少ないものです。少しずつ子育てを楽しみ、子どもの成長を喜んでいることを子どもに伝え、感じてもらいましょう。
- 出産の時のエピソードやお子さんの名前に込められたご両親の願いを話してみましょう。
- お子さんの「お手伝い」に心から感謝しましょう。
- お子さんが続けているスポーツや習い事などで、どんなところを頑張ったか聞いてみましょう。



## いのちのクイズ

私には何人の先祖がいるでしょう。  
10代前では?  
20代前では?  
30代前では?



# 家庭でのいのちの教育の一例

お子さんと話してみよう

## 三つとないいのち

母子手帳を見せながら妊娠中のこと、出産の時のこと、その後の成長のことをお子さんに話してみましょう。



お父さん・お母さんが、自分が一生懸命取り組んできたことをお子さんに話してみましょう。



三つとないいのち

## つながり合ういのち

ひいじいちゃん、ひいばあちゃんのことを話してみましょう。



一緒にボランティアに参加して、ともに支え合う喜びを経験してみましょう。



つながり合ういのち

## 限りあるいのち

ペットを飼ったり草花を育てたりしているときは、一緒にきちんと世話をしましょう。



限りある時間、限りあるいのちの中で、いのちを輝かせている人について話し合ってみましょう。



限りあるいのち